

# バスキュラ・アクセス 研究開発への提言



09-09-13

Zagreb, Croatia

Tetsuro Aoyama

# バスキュラ・アクセス研究開発への提言

## 1. 近隣関連諸学会との交流を活発にする

日本血管外科学会・日本脈管学会・日本血管内治療学会・  
日本心血管インターベンション治療学会など  
知識・技術を導入する。

逆に、バスキュラ・アクセスを知ってもらう。

自らの知らないことを知らなければ、進歩はない。

## 2. バスキュラ・アクセス使用の戦略アルゴリズム策定

自己血管をできるだけ長く使用する。そのためには、起こりうるトラブルを  
予測する。予測は、人間の高等な脳機能。

機能良好なバスキュラ・アクセスに対する侵襲的検査は有害。

留置カテーテルは、できるだけ避ける。感染による生命予後の短縮が  
考えられている。

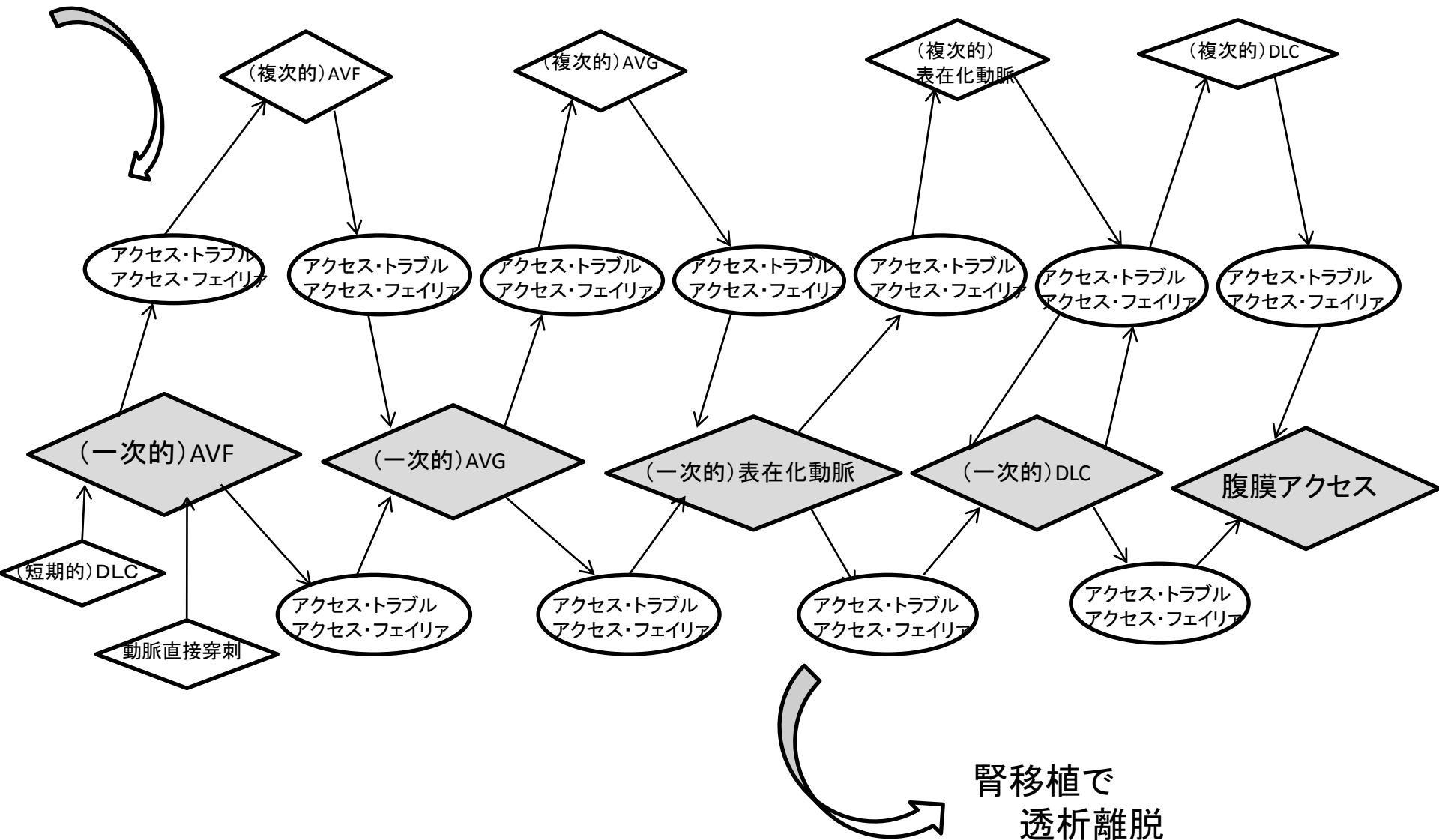
阿岸鉄三

ふれあい町田ホスピタル血液浄化センター



# バスキュラ・アクセス使用の戦略的アルゴリズム(案)

透析導入



# アルゴリズム内の移行

アクセスを長持ちさせるための配慮  
自己血管の最大限利用

アクセス・トラブル/フェイリアの  
兆候・症状・対策・治療

次のアクセスに移行すると予測される状況  
次のアクセスに移行する決定的な時点

次のアクセスに移行した後、前のアクセスをどうするか

透析医が、自分で対応できる検査・対策・治療と限界  
(小規模サテライト施設/ある程度の検査可能な施設)  
バスキュラ・アクセス専門医へ送るべき兆候・症状